

---

# FreeFlow VI Suite

## インストール補足説明書 (FreeFlow Print Server 対応)

---

管理番号 : ME4306J1-3

このたびは、FreeFlow Variable Information Suite をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

FreeFlow Variable Information (以降「VI」と記述します) Suite は、従来対応しているプリンターに加え、次に示す FreeFlow Print Server 7.0、および 8.0 対応のプリンターのシステムソフトウェアに、フォームやイメージなどの固定データとデータベースからの出力などの可変 (バリエーション) データを、様々な形式でプリントするアプリケーションのための実行環境を提供するソフトウェアです。

- Nuvera 288 EA Perfecting Production System (FreeFlow Print Server 7.0)
- Nuvera 144 EA Production System (FreeFlow Print Server 7.0)
- 700 Digital Color Press (FreeFlow Print Server 7.0)
- Color 1000 Press (FreeFlow Print Server 8.0)
- Color 800 Press (FreeFlow Print Server 8.0)

本書は、FreeFlow Print Server 7.0、および 8.0 対応のプリンターに対する VI Interpreter のインストール方法や、VIPP コマンドの仕様の差分情報を記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、有効にご利用いただくために、次のマニュアルと併せて、本書をご活用ください。

- FreeFlow VI Suite インストールガイド
- FreeFlow VI Suite 補足説明書
- FreeFlow VIPP Language リファレンスガイド

また、他の FreeFlow VI Suite 機能のマニュアルについては、同梱の『VI Suite パッケージ説明書』を読んで、該当のマニュアルを参照してください。

なお、本書は、プリンターの操作に関する基本的な知識を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PostScript 3、Acrobat、Distiller、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
テキスト中のポストスクリプトの名称の全てのインスタンスは、別段の記載がない限り、アドビ システムズ社の定義によるポストスクリプト言語を示します。  
ポストスクリプトの名称は、ポストスクリプト言語のインタプリタ、その他のアドビ製品を、アドビ システムズ社が実装する際の商標としても使用されます。  
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。  
Sun、Sun Microsystems、Ultra、サンのロゴマーク、Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Oracle® と Java® は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。  
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101、見出ゴ MB31、見出ミン MA31、新正楷書 CBSK1、新ゴ L、新ゴ M、新ゴ B は、株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止しており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。  
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。  
なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

#### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、DocuTech、DocuSP、iGen3、iGen4 および FreeFlow は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

# 目次

---

## ■目次

## ■本書の使い方

1	VI Interpreter のインストール	7
	VI Interpreter の動作環境、および前提条件	7
	VI Interpreter のインストールの流れ	7
	インストール後の操作	8
2	Nuvera 288 EA Perfecting Production System	9
3	Nuvera 144 EA Production System	10
4	700 Digital Color Press	11
	FFPS の FastPath 機能について	11
	サポート対象外のコマンドとパラメーター	12
	注意点のある、サポート対象のコマンドとパラメーター	12
	コマンドに関する注意点	13
	パラメーターに関する注意点	17
	指定できる日本語フォント名 ( <i>fontname</i> )	18
	指定できるホチキス留めの引数	19
	指定できる折りの引数	20
	指定できる中とじの引数	20
	指定できるパンチの引数	21
	指定できる用紙のタイプ ( <i>MediaType</i> )	22
	指定できる用紙の色 ( <i>MediaColor</i> )	23
	指定できる用紙の質量 ( <i>MediaWeight</i> )	23
	指定できるプリントの排出先 ( <i>OutputType</i> )	23
	利用できる用紙サイズ ( <i>pagewidth</i> と <i>pageheight</i> )	24
	自動イメージ補正の注意	26
	FFPS で特殊描画機能を使用するための設定をする	26
5	Color 1000 Press / Color 800 Press	28
	FFPS の FastPath 機能について	28
	サポート対象外のコマンドとパラメーター	29
	注意点のある、サポート対象のコマンドとパラメーター	29
	コマンドに関する注意点	30

パラメーターに関する注意点 .....	34
指定できる日本語フォント名 ( <i>fontname</i> ) .....	35
指定できるホチキス留めの引数 .....	36
指定できる折りの引数 .....	37
指定できる中とじの引数 .....	37
指定できるパンチの引数 .....	38
指定できる用紙のタイプ ( <i>MediaType</i> ) .....	39
指定できる用紙の色 ( <i>MediaColor</i> ) .....	40
指定できる用紙の質量 ( <i>MediaWeight</i> ) .....	40
指定できるプリントの排出先 ( <i>OutputType</i> ) .....	40
利用できる用紙サイズ ( <i>pagewidth</i> と <i>pageheight</i> ) .....	41
自動イメージ補正の注意 .....	43
FFPS で特殊描画機能を使用するための設定をする .....	43
後処理を使用するときの注意 .....	44

# 本書の使い方

---

VI Suite を使用する前にお読みください。

## ■本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

### 1 VI Interpreter のインストール

FreeFlow Print Server への VI Interpreter のインストール方法について説明しています。

### 2 Nuvera 288 EA Perfecting Production System

VI Suite 関連アプリケーションを使用するうえでの、プリンター固有の制限情報を記載しています。

### 3 Nuvera 144 EA Production System

VI Suite 関連アプリケーションを使用するうえでの、プリンター固有の制限情報を記載しています。

### 4 700 Digital Color Press

VI Suite 関連アプリケーションを使用するうえでの、プリンター固有の制限情報を記載しています。

### 5 Color 1000 Press / Color 800 Press

VI Suite 関連アプリケーションを使用するうえでの、プリンター固有の制限情報を記載しています。

## ■本書の表記

本書では、以下の記号を用いて表現しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 〔例〕 <Enter> キーを押します。
[ ]	画面に表示されるメニューや項目を表します。 〔例〕 [ オン]、または [ オフ] を選択します。 [ ジョブ名 ]、[ 所有者 ]、[ 理由 ] の順に表示されます。
「 」	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、メッセージも表します。 〔例〕 「1.1 注意制限事項」を参照してください。 「漢字フォントが指定されていません。」と表示されます。
『 』	他のマニュアルの参照先マニュアル名を表します。 〔例〕 『VI Suite インストールガイド』を参照してください。
<b>注記</b>	操作に関する注意事項を表します。
<b>補足</b>	必要に応じて読んでいただきたい情報を表します。
<b>参照</b>	参照先を表します。

# 1 VI Interpreterのインストール

FreeFlow Print Server 7.0、または8.0へのインストールについて説明します。

## VI Interpreterの動作環境、および前提条件

VI Interpreterをインストールできるプリンターとサーバーのシステムバージョンに、次表の内容が追加されました。また、VI Interpreterをインストールするための前提条件にもなります。

プリンター	サーバー	ドライブの空き容量
Nuvera 288 EA Perfecting Production System	FreeFlow Print Server 7.0	200MB 以上
Nuvera 144 EA Production System	FreeFlow Print Server 7.0	200MB 以上
700 Digital Color Press	FreeFlow Print Server 7.0	200MB 以上
Color 1000 Press	FreeFlow Print Server 8.0	200MB 以上
Color 800 Press	FreeFlow Print Server 8.0	200MB 以上

**補足** 本書では、FreeFlow Print Server 搭載プリンターのシステムソフトウェアのことを「FFPS プリンター」、および「FFPS」と称します。

## VI Interpreterのインストールの流れ

VI Interpreterをインストールする流れは、次のとおりです。

### 操作の流れ

**1** VI Interpreterで対応するプリンターのシステムソフトウェアのバージョンが、お使いのプリンターのバージョンと同じかどうかを確認します。

同じ場合は、手順 **2** に進んでください。異なる場合は、VI Interpreterで対応しているバージョンに、FFPSをアップグレードしてから、手順 **2** に進みます。

**注記** VI Interpreterで対応するプリンターのシステムバージョン以外で、VI Interpreterをインストールした場合、動作の保証はできません。

**参照** バージョンの確認手順は、『VI Suite インストールガイド』の、「5.2.1 VI Interpreterのインストール手順」の「VI Interpreterのインストール手順」の手順 **2** (P. 88) を参照してください。

**2** VI Interpreterをインストールします。

**参照** インストールの手順は、『VI Suite インストールガイド』の、「5.2.1 VI Interpreterのインストール手順」の「VI Interpreterのインストール手順」の手順 **1 ~ 13** (P. 88 ~ 90) を参照してください。

### 3 追加ファイルをインストールします。

**参照** インストールの手順は、『VI Suite インストールガイド』の「5.2.1 VI Interpreter のインストール手順」の「VI Interpreter のインストール手順」の手順 **14 ~ 18** (P.91) を参照してください。

### 4 VI Interpreter が正常にインストールされたかどうかを確認するために、テスト文書をプリントします。

**参照** テスト印刷の手順は、『VI Suite インストールガイド』の「5.2.2 テスト印刷」(P.92、93) を参照してください。

また、Nuvera 288 EA Perfecting Production System、Nuvera 144 EA Production System、700 Digital Color Press、Color 1000 Press、Color 800 Press の場合、コマンド操作や出力確認については、「5.2.2 テスト印刷」の手順 **8** と **9** (P.93) を参照し、Nuvera 144 EA Digital Production System の内容を読み替えてください。

### 5 VI Interpreter をインストールしたあとに、ライセンスの取得および設置をします。

**参照** ライセンスの取得および設置の手順は、『VI Suite インストールガイド』の「5.3 ライセンスの取得と設置」(P.94 ~ 97) を参照してください。

また、次の機種種のライセンスに必要なシリアル番号の確認場所については、次のとおりです。

- Nuvera 288 EA Perfecting Production System、Nuvera 144 EA Production System の場合  
お使いのプリンター本体の前面にある左右ドアを開けて、機械の最下段に貼ってあるバーコードが印字されたシールを確認してください。最下行の6桁の数字がシリアル番号です。
- 700 Digital Color Press、Color 1000 Press、Color 800 Press の場合  
プリンター本体のトレイ 1 を手前に引き出し、トレイ 1 内の左側に貼ってあるバーコードが印字されたシールを確認してください。最下行の 6 桁の数字がシリアル番号です。

## インストール後の操作

次の操作については、次表の参照先に従って操作してください。

インストール後の操作	『VI Suite インストールガイド』の参照先
VI Interpreter データのバックアップ	「5.4 VI Interpreter のデータのバックアップ」(P.98)
VI Interpreter の再インストール	「5.6 VI Interpreter の再インストール」(P.100)

# 2

## Nuvera 288 EA Perfecting Production System

---

VI Interpreter を利用できる機種に、Nuvera 288 EA Perfecting Production System が追加されました。利用できるシステムソフトウェアのバージョンは、次のとおりです。

- FreeFlow Print Server 7.0

**補足** 次のオプション商品を購入することで、バーコードフォントや、特殊描画機能のコレレーションテキスト、マイクロテキストを使用できます。詳しくは、弊社担当者にお問い合わせください。

- FreeFlow VI Suite 対応フォント A (バーコードフォント)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント B (コレレーションテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント C (マイクロテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント D (KAJO-J 明朝)

VI Interpreter を利用するうえで、Nuvera 288 EA Perfecting Production System 固有の制限があります。

Nuvera 288 EA Perfecting Production System 固有の制限については、『FreeFlow VI Suite 補足説明書』の「3.11 Nuvera 144 EA Digital Production System」(P.167 ~ 180) を参照してください。また、「Nuvera 144 EA Digital Production System」を「Nuvera 288 EA Perfecting Production System」に読み替えてください。

# 3

## Nuvera 144 EA Production System

---

VI Interpreter を利用できる機種に、Nuvera 144 EA Production System が追加されました。利用できるシステムソフトウェアのバージョンは、次のとおりです。

- FreeFlow Print Server 7.0

**補足** 次のオプション商品を購入することで、バーコードフォントや、特殊描画機能のコレレーションテキスト、マイクロテキストを使用できます。詳しくは、弊社担当者にお問い合わせください。

- FreeFlow VI Suite 対応フォント A (バーコードフォント)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント B (コレレーションテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント C (マイクロテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント D (KAJO-J 明朝)

VI Interpreter を利用するうえで、Nuvera 144 EA Production System 固有の制限があります。Nuvera 144 EA Production System 固有の制限については、『FreeFlow VI Suite 補足説明書』の「3.11 Nuvera 144 EA Digital Production System」(P.167 ~ 180) を参照してください。また、「Nuvera 144 EA Digital Production System」を「Nuvera 144 EA Production System」に読み替えてください。

# 4 700 Digital Color Press

VI Interpreter を利用できる 700 Digital Color Press のシステムソフトウェアに、PX700 Print Server Ver. 4.0/4.1 以外に、次のシステムソフトウェアも追加されました。

- FreeFlow Print Server 7.0

**補足** 次のオプション商品を購入することでバーコードフォントや、特殊描画機能のグロステキスト、コレレーションテキスト、マイクロテキストを使用できます。詳しくは、弊社担当者にお問い合わせください。

- FreeFlow VI Suite 対応フォント A (バーコードフォント)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント B (グロステキスト、コレレーションテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント C (マイクロテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント D (KAJO-J 明朝)

VI Interpreter を利用するうえで、700 Digital Color Press 固有の制限について説明します。

## FFPS の FastPath 機能について

FFPS で VI Interpreter を使用するときには、必ず FFPS の FastPath と呼ばれる機能を無効にします。この機能を無効にしないと、プリント結果からイメージやフォームが欠落することがあります。

FastPath 機能を無効にする手順は、次のとおりです。

### 操作手順

- 1** FFPS の [ログオン] メニューから、[ログオン] を選択します。  
[ログオン] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** [ユーザー名] エリアのプルダウンメニューから、[システム管理者] を選択します。
- 3** [パスワード] エリアにパスワードを入力します。
- 4** [了解] ボタンをクリックします。
- 5** [システム] メニューから、[UNIX 端末エミュレータウィンドウ] を選択します。  
端末エミュレーターのウィンドウが起動されます。
- 6** 端末エミュレーターのプロンプトで「su」を入力します。

```
% su
```

- 7** 引き続き、root のパスワードを入力します。

```
Password: xxxxxxxx  
#
```

8 次のコマンドを実行して、FastPath を無効にします。

```
# cd /opt/XRXnps/bin
# ./setimagepath -f 0
```

9 FFPS を再起動します。

**補足** 一度、無効化の手順を行うと、そのあとに FFPS やプリンターの電源を入れ直しても、FastPath 機能は無効のままになります。

## サポート対象外のコマンドとパラメーター

---

次のコマンドとパラメーターは、サポートしていません。

### ■ コマンド

- BIND\_off
- BIND\_on
- STAPLE\_off
- STAPLE\_on
- STAPLEDETAILS

### ■ パラメーター

- /MediaSubst

## 注意点のある、サポート対象のコマンドとパラメーター

---

次のサポート対象のコマンドとパラメーターについては、使用するうえで注意点があります。

**参照** 各コマンドとパラメーターの注意点については、「コマンドに関する注意点」(P. 13)、および「パラメーターに関する注意点」(P. 17)を参照してください。

### ■ コマンド

- INDEXFONT
- PRECACHE
- RUNDD
- SETFINISHING
- SETFONT
- SETMEDIA
- SETMEDIAT
- SETOBIN
- SETOBINT
- SETPAGESIZE

## ■ パラメーター

- /Caching

## コマンドに関する注意点

---

次のコマンドを使用するときの注意点や、使用する属性値について説明します。

### ■ INDEXFONT

フォントのインデックスを作成するために指定できる日本語フォント名 (*fontname*) は、700 Digital Color Press で提供しているフォントとエンコードです。

**参照** 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名 (*fontname*)」(P. 18) を参照してください。

### ■ PRECACHE

- **PRECACHE** コマンドを使用したイメージを回転させて出力すると、出力位置がずれてしまうことがあります。イメージを回転させる場合は、**PRECACHE** コマンドは使用しないでください。
- TIFF 形式へのデコンポーズ保存はできません。  
**PRECACHE** コマンドを使用している VIPP ジョブを、FFPS デコンポジションサービスで [TIFF (1 ページ)] または [TIFF (複数ページ)] 形式に保存しようとする、次のフォルトメッセージが表示され、ジョブの処理がされません。  
「ジョブの処理中に、イメージ処理でエラーが発生しました」  
このため、**PRECACHE** コマンドを使用している VIPP ジョブを、TIFF 形式にデコンポーズ保存できません。
- ひとつのジョブの中で、同じイメージに対して **PRECACHE** コマンドを複数回使用すると、プリント時に、エラー (stackunderflow: defineresource) が発生します。このため、ひとつのジョブ内で、同一イメージに対して **PRECACHE** コマンドを複数回、使用しないでください。  
また、上記と同様の理由から、データベースモードで、DBM ファイル内に **PRECACHE** コマンドを記述すると、エラーが発生することがあります。このような場合には、DBF ファイルの先頭に **PRECACHE** コマンドを記述することで、エラーの発生を回避できます。
- 700 Digital Color Press では、**PRECACHE** コマンドによって、FFPS のサーバーのハードディスク上にプレキャッシュリソースファイルが作成され、それ以降のジョブからも呼び出せます。このため、過去のジョブで **PRECACHE** コマンドを使用したファイルと同名の異なるファイル (たとえば、イメージが更新されたときなど) を、別のジョブで **CACHE** コマンドを用いて出力しようとする、現在のイメージではなく、過去に **PRECACHE** コマンドを使用したときのイメージで描画されてしまうことがあります。  
これを防ぐためには、リソースが更新されたあとは必ず、次に示す①と②のどちらかの操作を行ってください。  
① **PRECACHE** コマンドを実行して、プレキャッシュリソースファイルを作成し直す  
② FFPS のメインウィンドウの [オプション] メニューから [サイト設定]、[プリントの方法] タブの順に選択し、[可変データオブジェクト] エリアの [すべて削除] ボタンをクリックして、プレキャッシュリソースファイルをすべて削除したあとにプリントする

## ■ RUNDD

一般的なモノクロやハイライトカラープリンターの、FFPS が作成するデコンポーズ保存 TIFF は、白黒 2 値です。これに対して、700 Digital Color Press の FFPS デコンポーズ保存機能によって作成される TIFF イメージは、フルカラーです。そのため、**RUNDD** コマンドを用いて、700 Digital Color Press でのデコンポーズ保存ジョブを出力するときには、次のことに注意する必要があります。

- RIP 処理速度が非常に遅く、白黒 2 値の保存ジョブと比較して、RIP 処理時間がおおよそ数十倍かかることがあります。
- デコンポーズ保存前のオリジナルジョブがモノクロであっても、フルカラーでデコンポーズ TIFF が作成されます。そのため、**RUNDD** コマンドによる出力ページが一見モノクロに見えても、カラーページとして課金メーターにカウントされます。
- VI Interpreter は白黒 2 値の TIFF は透過、カラーイメージは不透過として扱います。そのため、**RUNDD** コマンドによる出力イメージは、背面にあらかじめ描画されているフォームイメージなどを上書きしてしまいます。

たとえば、次に示すような **SETFORM** と **RUNDD** コマンドによって、ページ上の同じ箇所と同じテキストやイメージをマージすることは、700 Digital Color Press ではできません。

```
{
  2000 3400 MOVETO
  (logo.tif) 1 0 ICALL
  /Ryumin-Light-RKSJ-H 18 SETFONT
  1240 100 MOVETO
  (富士ゼロックス) SHC
} SETFORM

(letter) RUNDD
```

## ■ SETFINISHING

- 700 Digital Color Press で後処理を指定する場合には、**SETFINISHING** コマンドを使用します。他の機種で使用している **STAPLE\_on**、**STAPLE\_off**、および **STAPLEDETAIL** コマンドによる後処理は、700 Digital Color Press ではサポートしていません。
- 後処理の動作には、ホチキス留め、折り、中とじ、パンチ（穴あけ位置と数）が指定できます。
  - 〔参照〕 指定できる後処理の動作については、次の各項目を参照してください。
    - 「指定できるホチキス留めの引数」(P. 19)
    - 「指定できる折りの引数」(P. 20)
    - 「指定できる中とじの引数」(P. 20)
    - 「指定できるパンチの引数」(P. 21)
- 後処理の動作（引数）指定について、次のような制限があります。
  - 用紙サイズごとに、指定できる後処理が異なります。
  - 複数指定ができる後処理（ステーブル+パンチなど）と、できない後処理があります。
  - 用紙サイズが混在できる後処理と、できない後処理があります。
  - 〔参照〕 プリンターの仕様に関連する制限については、プリンター側で用意されているマニュアルを参照してください。

## ■ SETFONT

日本語フォント名 (*fontname*) には、700 Digital Color Press で提供しているフォントとエンコードを指定します。

- 〔参照〕 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名 (*fontname*)」(P. 18) を参照してください。

## ■ SETMEDIA

- ひとつのジョブの中で複数の用紙を指定するときは、あらかじめ、FFPS のデフォルト用紙を **SETMEDIA** コマンドで設定します。これを設定しておかないと、**SETMEDIAT** コマンドで一時的に用紙指定をしたときに、それ以降の物理ページで用紙設定がデフォルトには戻らないまま、**SETMEDIAT** コマンドで変更した指定用紙が継続して使用されます。
  - 〔補足〕 FFPS のデフォルト用紙設定は、用紙のタイプは [普通紙] (**Plain**)、色は [白] (**White**)、質量は [90 g/m<sup>2</sup>] (90) です。
- 用紙の属性を **null**、または空白に指定すると、属性の内容を変更しないようにできます。たとえば、次の例のように、用紙の属性のどれかに **null** を指定すると、その属性は以降の用紙の選択では無視されて、FFPS のデフォルト設定値が有効になります。

〔例〕 *MediaColor* が無視されている場合

```
(Drilled:null:100) SETMEDIA
```

- たとえば、次の例のように、用紙の属性（タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*)）のどれかが省略された場合は、以降の用紙の選択に対してその直前の **SETMEDIA** コマンドでの設定が有効になります。

【例】 *MediaColor* が省略されている場合

```
(Drilled:::100) SETMEDIA
```

- **SETMEDIA** コマンドによる指定用紙情報は、FFPS の [ジョブ管理] ウィンドウには表示されませんが、有効です。
- 出力用紙には、タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*) が指定できます。
  - （参照） 指定できる出力用紙については、次の各項目を参照してください。
    - 「指定できる用紙のタイプ (*MediaType*)」 (P. 22)
    - 「指定できる用紙の色 (*MediaColor*)」 (P. 23)
    - 「指定できる用紙の質量 (*MediaWeight*)」 (P. 23)

## ■ SETMEDIAT

- デフォルトの用紙は、あらかじめ **SETMEDIA** コマンドで設定します。これを設定しておかないと、**SETMEDIAT** コマンドで一時的に用紙指定をしたときに、それ以降の物理ページで用紙設定がデフォルトには戻らないまま、**SETMEDIAT** コマンドで変更した指定用紙が継続して使用されます。
- **SETMEDIA** コマンドと同じように、属性の設定値を **null** または空白に指定することで、その属性の内容を変更しないようにできます。
  - （参照） **SETMEDIA** コマンドについては、「SETMEDIA」 (P. 15) を参照してください。
- 現在のページを一時的に設定する出力用紙には、タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*) が指定できます。
  - （参照） 指定できる出力用紙については、次の各項目を参照してください。
    - 「指定できる用紙のタイプ (*MediaType*)」 (P. 22)
    - 「指定できる用紙の色 (*MediaColor*)」 (P. 23)
    - 「指定できる用紙の質量 (*MediaWeight*)」 (P. 23)

## ■ SETOBIN

- **SETOBIN** コマンドを使用して出力先をスタッカーに設定した場合に、バナーシートやエラーシートだけがトップトレイに排出されることがあります。バナーシートやエラーシートもスタッカーに排出させるには、FFPS の [キュー管理] ウィンドウで、ジョブを送信するキューの [プリントの排出先] を、[スタッカー] に設定してください。
- プリントの出力（排出）先 (*OutputType*) が指定できます。
  - （参照） 指定できるプリントの排出先については、「指定できるプリントの排出先 (*OutputType*)」 (P. 23) を参照してください。

## ■ SETOBINT

- SETOBINT コマンドを使用して出力先をスタッカーに設定した場合に、バナーシートやエラーシートだけがトップトレイに排出されることがあります。バナーシートやエラーシートもスタッカーに排出させるには、FFPS の [キュー管理] ダイアログボックスで、ジョブを送信するキューの [プリントの排出先] を、[スタッカー] に設定してください。
- 現在のページをプリントする出力（排出）先（OutputType）が一時的に設定できます。  
**参照** 指定できるプリントの排出先については、「指定できるプリントの排出先（OutputType）」（P. 23）を参照してください。

## ■ SETPAGESIZE

定型サイズの内紙に対応する、各単位での用紙サイズ（pagewidth と pageheight）が指定できます。

- 参照** 指定できる用紙サイズについては、「利用できる用紙サイズ（pagewidth と pageheight）」（P. 24）を参照してください。

# パラメーターに関する注意点

---

次のパラメーターを使用するときの注意点や、使用する属性値について説明します。

## ■ Caching

SETPARAMS コマンドでは、Adobe キャッシュと Xerox キャッシュの設定を切り替えることができますが、700 Digital Color Press の場合には、[オプション] メニューの [サイト設定] の [プリントの方法] タブ設定で、この切り替え設定が上書きされます。

キャッシュの切り替え動作は、次表のとおりです。

[オプション] メニューの [サイト設定] の [プリントの方法] タブ設定	動作
[PostScript キャッシュ] に [加速モード] を選択	Xerox キャッシュを使用
[PostScript キャッシュ] に [標準モード] を選択	Adobe キャッシュを使用

## 指定できる日本語フォント名 (*fontname*)

---

指定できる日本語フォント名（フォント 12 書体とエンコード（よこ書き：6 種類、たて書き：5 種類）は、次のとおりです。

### ■ フォント

- /ShinGo-Bold（新ゴ (Bold)）
- /ShinGo-Light（新ゴ (Light)）
- /ShinGo-Medium（新ゴ (Medium)）
- /Jun101-Light（じゅん 101 (Light)）
- /GothicBBB-Medium（中ゴシック BBB (Medium)）
- /FutoMinA101-Bold（太ミン A101 (Bold)）
- /FutoGoB101-Bold（太ゴ B101 (Bold)）
- /HeiseiKakuGo-W5（平成角ゴシック体 (W5)）
- /HeiseiMin-W3（平成明朝体 (W3)）
- /MidashiGo-MB31（見出ゴ (MB31)）
- /MidashiMin-MA31（見出ミン (MA31)）
- /Ryumin-Light（リュウミン L-KL (Light)）

### ■ エンコード（よこ書き）

- 83pv-RKSJ-H
- 90ms-RKSJ-H
- 90pv-RKSJ-H
- Ext-RKSJ-H
- RKSJ-H
- UniJIS-UTF8-H

### ■ エンコード（たて書き）

- 90ms-RKSJ-V
- 90pv-RKSJ-V
- Ext-RKSJ-V
- RKSJ-V
- UniJIS-UTF8-V

## 指定できるホチキス留めの引数

指定できるホチキス留めの引数は、次表のとおりです。

引数	ホチキス留めの説明
SinglePortrait	左上ホチキス1か所—たて
SingleLandscape	左上ホチキス1か所—よこ
DualLeftPortrait	左ホチキス2か所—たて
DualLeftLandscape	左ホチキス2か所—よこ
DualPortrait	上ホチキス2か所—たて
DualTopPortrait	上ホチキス2か所—たて
DualLandscape	上ホチキス2か所—よこ
RightPortrait	右上ホチキス1か所—たて
RightLandscape	右上ホチキス1か所—よこ
DualBottomPortrait	下ホチキス2か所—たて
DualRightPortrait	右ホチキス2か所—たて
DualRightLandscape	右ホチキス2か所—よこ
CenterTopPortrait	上中央ホチキス1か所—たて
CenterTopLandscape	上中央ホチキス1か所—よこ
CenterBottomPortrait	下中央ホチキス1か所—たて
CenterBottomLandscape	下中央ホチキス1か所—よこ
CenterRightPortrait	右中央ホチキス1か所—たて
CenterRightLandscape	右中央ホチキス1か所—よこ
CenterLeftPortrait	左中央ホチキス1か所—たて
CenterLeftLandscape	左中央ホチキス1か所—よこ
BottomLeftPortrait	左下ホチキス1か所—たて
BottomLeftLandscape	左下ホチキス1か所—よこ
BottomRightPortrait	右下ホチキス1か所—たて
BottomRightLandscape	右下ホチキス1か所—よこ

## 指定できる折りの引数

---

指定できる折りの引数は、次表のとおりです。

引数	折りの説明
CFoldOutside	内三つ折り（外側にプリント）
ZFoldOutside	外三つ折り（外側にプリント）
BiFoldInside	二つ折り（内側に印刷）
BiFoldOutside	二つ折り（外側に印刷）
ZFoldInsideLeftHalfSheet	Z折り左とじ
ZFoldInsideRightHalfSheet	Z折り右とじ

## 指定できる中とじの引数

---

指定できる中とじの引数は、次表のとおりです。

引数	中とじの説明
BookletFold	二つ折り
BookletSaddleStitch	二つ折り / ホチキス

## 指定できるパンチの引数

---

指定できるパンチ（穴あけ位置と数）の引数は、次表のとおりです。

- パンチ位置（穴あけ位置）

引数	パンチ位置（穴あけ位置）の説明
TopPortrait	上パンチーたて
BottomPortrait	下パンチーたて
RightPortrait	右パンチーたて
LeftPortrait	左パンチーたて
TopLandscape	上パンチーよこ
BottomLandscape	下パンチーよこ
RightLandscape	右パンチーよこ
LeftLandscape	左パンチーよこ

- パンチ数（穴あけ数）

引数	パンチ数（穴あけ数）の説明
Two	2 穴
Three	3 穴
Four	4 穴

**補足** お使いのプリンターの構成によっては2穴以外に、3穴（オプション）または4穴のどちらか一方だけ指定できます。

## 指定できる用紙のタイプ (Media Type)

指定できる用紙のタイプ (Media Type) は、次表のとおりです。

タイプ名 (Media Type)	用紙のタイプの説明
Plain	普通紙
Drilled	普通紙 (穴あき)
Recycled	再生紙
RecycledDrilled	再生紙 (穴あき)
Preprinted	プレプリント
Drilled Preprinted	プレプリント (穴あき)
Label	ラベル紙
Drilled Label	ラベル紙 (穴あき)
PreCutTab#n	インデックス紙、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値)
Drilled PreCutTab#n	インデックス紙 (穴あき)、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値)
Transparency	OHP フィルム
Drilled Transparency	OHP フィルム (穴あき)
FullCutTab	フルカッタブ
Drilled FullCutTab	フルカッタブ (穴あき)
Ordered	順序指定
Drilled Ordered	穴あき順序指定
xxx/n	順序指定紙、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値) xxx の部分は順序指定の用紙名で、任意の名前を使用 (半角英数字) できます。この場合、プリンターのトレイの用紙設定で、用紙タイプをこの内容に対応したものにしておく必要があります。
ユーザー定義タイプ	ユーザーが任意に定義できる用紙タイプ

**補足** タイプ名 (Media Type) に指定する文字列では、大文字と小文字の違いは無視されます。

## 指定できる用紙の色 (MediaColor)

指定できる用紙の色 (MediaColor) は、次表のとおりです。

色 (MediaColor)	用紙の色の説明
noColor	透明
white	白
blue	青
buff	クリーム
green	みどり
gray	グレー
goldenrod	山吹色
ivory	アイボリー
orange	オレンジ
pink	ピンク
red	赤
yellow	黄色
ユーザー定義色	ユーザーが任意に定義できる用紙色

**補足** 色 (MediaType) に指定する文字列では、大文字と小文字の違いは無視されます。

## 指定できる用紙の質量 (MediaWeight)

指定できる用紙の質量 (MediaWeight) は、次表のとおりです。

FFPS では [90 g/m<sup>2</sup>] がデフォルトなので、通常は「90」を指定します。

質量 (MediaWeight)	用紙の質量の説明
70	70 g/m <sup>2</sup>
90	90 g/m <sup>2</sup>
120	120 g/m <sup>2</sup>
140	140 g/m <sup>2</sup>
210	210 g/m <sup>2</sup>
250	250 g/m <sup>2</sup>

## 指定できるプリントの排出先 (OutputType)

プリントの出力 (排出) 先 (OutputType) は、次表のとおりです。

出力先名 (OutputType)	出力先の説明
TopTray	トップトレイ (排出トレイ)
Stacker	スタッカー (フィニッシャートレイ)

## 利用できる用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*)

定型サイズの内紙に対応する、各単位での用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*) の指定ができます。指定できる用紙サイズは、次表のとおりです。

**補足** Width と Height の下段にある ( ) 内は、サイズの単位を表します。

用紙サイズ	Width (MM)	Height (MM)	Width (INCH)	Height (INCH)	Width (POINT)	Height (POINT)
レター (216 x 279 mm)	216	279	8.5	11	612	792
リーガル (216 x 356 mm)	216	356	8.5	14	612	1008
ステートメント (140 x 216 mm)	140	216	5.5	8.5	396	612
レジャー (432 x 279 mm)	279	432	11	17	792	1224
9 x 11" (229 x 279 mm)	229	279	9	11	648	792
8 x 10" (203 x 254 mm)	203	254	8	10	576	720
A3 (420 x 297 mm)	297	420	11.7	16.5	842	1191
A4 (210 x 297 mm)	210	297	8.3	11.7	595	842
8.5 x 13" (216 x 330 mm)	216	330	8.5	13	612	936
223 x 297 mm	223	297	8.8	11.7	632	842
B4 (257 x 364 mm)	257	364	10.1	14.3	729	1032
A5 (148 x 210 mm)	148	210	5.8	8.3	420	595
B5 (182 x 257 mm)	182	257	7.2	10.1	516	729
12 x 18" (305 x 457 mm)	305	457	12	18	864	1296
十六開 (194 x 267 mm)	194	267	7.6	10.5	550	756
八開 (267 x 388 mm)	267	388	10.5	15.3	756	1100
SRA3 (320 x 450 mm)	320	450	12.6	17.7	907	1276
エグゼクティブ (184 x 267 mm)	184	267	7.3	10.5	522	756
A6 (105 x 148 mm)	105	148	4.1	5.8	297	420
C5 (162 x 229 mm)	162	229	6.4	9.0	459	649
11 x 15" (279 x 381 mm)	279	381	11	15	792	1080
328 x 453 mm	328	453	12.9	17.8	930	1284
12 x 19" (305 x 482 mm)	305	483	12	19	864	1368
12.6 x 19.2" (320 x 488 mm)	320	488	12.6	19.2	907	1382
13 x 18" (330 x 457 mm)	330	457	13	18	936	1296
13 x 19" (330 x 483 mm)	330	483	13	19	936	1368
十六開 GCO (195 x 270 mm)	195	270	7.7	10.6	553	765
八開 GCO (270 x 390 mm)	270	390	10.6	15.4	765	1106
はがき (100 x 148 mm)	100	148	3.9	5.8	283	420
はがき (148 x 200 mm)	148	200	5.8	7.9	420	567

用紙サイズ	Width (MM)	Height (MM)	Width (INCH)	Height (INCH)	Width (POINT)	Height (POINT)
4 x 6 Postcard	101	149	4	5.9	286	422
5 x 7''	127	191	5	7.5	360	540
XR 6 x 9	152	229	6	9	432	648
B6	128	182	5	7.2	363	516
Spanish XW	215	315	8.5	12.4	609	893
226 x 310mm	226	310	8.9	12.2	640	878
310 x 432mm	310	432	12.2	17	878	1224
Envelope (240 x 332 mm)	240	332	9.4	13.1	680	941
C4 Envelope (229 x 324 mm)	229	324	9	12.8	649	918

用紙サイズ	Width (DOT3)	Height (DOT3)	Width (PELS)	Height (PELS)	Width (CM)	Height (CM)
レター (216 x 279 mm)	2550	3300	2040	2640	21.6	27.9
リーガル (216 x 356 mm)	2550	4200	2040	3360	21.6	35.6
ステートメント (140 x 216 mm)	1650	2550	1320	2040	14	21.6
レジャー (432 x 279 mm)	3300	5100	2640	4080	27.9	43.2
9 x 11'' (229 x 279 mm)	2700	3300	2160	2640	22.9	27.9
8 x 10'' (203 x 254 mm)	2400	3000	1920	2400	20.3	25.4
A3 (420 x 297 mm)	3508	4963	2807	3970	29.7	42
A4 (210 x 297 mm)	2479	3508	1983	2807	21	29.7
8.5 x 13'' (216 x 330 mm)	2550	3900	2040	3120	21.6	33
223 x 297 mm	2633	3508	2107	2807	22.3	29.7
B4 (257 x 364 mm)	3038	4300	2430	3440	25.7	36.4
A5 (148 x 210 mm)	1750	2479	1400	1983	14.8	21
B5 (182 x 257 mm)	2150	3038	1720	2430	18.2	25.7
12 x 18'' (305 x 457 mm)	3600	5400	2880	4320	30.5	45.7
十六開 (194 x 267 mm)	2292	3150	1833	2520	19.4	26.7
八開 (267 x 388 mm)	3150	4583	2520	3667	26.7	38.8
SRA3 (320 x 450 mm)	3779	5317	3023	4254	32	45
エグゼクティブ (184 x 267 mm)	2175	3150	1740	2520	18.4	26.7
A6 (105 x 148 mm)	1238	1750	990	1400	10.5	14.8
C5 (162 x 229 mm)	1913	2704	1530	2163	16.2	22.9
11 x 15'' (279 x 381 mm)	3300	4500	2640	3600	27.9	38.1
328 x 453 mm	3875	5350	3100	4280	32.8	45.3
12 x 19'' (305 x 482 mm)	3600	5700	2880	4560	30.5	48.3
12.6 x 19.2'' (320 x 488 mm)	3779	5758	3023	4607	32	48.8

用紙サイズ	Width (DOT3)	Height (DOT3)	Width (PELS)	Height (PELS)	Width (CM)	Height (CM)
13 x 18" (330 x 457 mm)	3900	5400	3120	4320	33	45.7
13 x 19" (330 x 483 mm)	3900	5700	3120	4560	33	48.3
十六開 GCO (195 x 270 mm)	2304	3188	1843	2550	19.5	27
八開 GCO (270 x 390 mm)	3188	4608	2550	3687	27	39
はがき (100 x 148 mm)	1179	1750	943	1400	10	14.8
はがき (148 x 200 mm)	1750	2363	1400	1890	14.8	20
4 x 6 Postcard	1192	1758	953	1407	10.1	14.9
5 x 7"	1500	2250	1200	1800	12.7	19.1
XR 6 x 9	1800	2700	1440	2160	15.2	22.9
B6	1513	2150	1210	1720	12.8	18.2
Spanish XW	2538	3721	2030	2977	21.5	31.5
226 x 310mm	2667	3658	2133	2927	22.6	31
310 x 432mm	3658	5100	2927	4080	31	43.2
Envelope (240 x 332 mm)	2833	3921	2267	3137	24	33.2
C4 Envelope (229 x 324 mm)	2704	3825	2163	3060	22.9	32.4

## 自動イメージ補正の注意

VIPP ジョブをプリントする場合には、プロパティの [画質] タブの [自動イメージ補正] で、[自動イメージ補正] に [しない] を設定してください。[標準] や [ユーザー定義] に設定した場合には、正しく描画できないことがあります。

## FFPS で特殊描画機能を使用するための設定をする

次の手順に従って、FFPS で特殊描画のジョブを処理するためのキューを設定します。

### 操作手順

- 1 キューのプロパティで、[画質] タブ、[ハーフトーン] ボタンの順に選択します。
- 2 [ハーフトーン] プルダウンメニューから [600 線網点] を選択します。
- 3 [自動イメージ補正] ボタンを選択します。
- 4 [自動イメージ補正] プルダウンメニューから [しない] を選択します。
- 5 [カラーの管理] ボタンをクリックします。  
[カラーの管理] ダイアログボックスが表示されます。

**6** [CMYK] タブの [写真] と [文字と図 / 表 / グラフ] プルダウンメニューの両方で、[受信データの CMYK 値をそのまま使う] を選択します。

VI Interpreter を利用できる Color 1000 Press、または Color 800 Press のシステムソフトウェアに、PX1000 Print Server Ver.5.0 以外に、次のシステムソフトウェアも追加されました。

- FreeFlow Print Server 8.0

**補足** 次のオプション商品を購入することでバーコードフォントや、特殊描画機能のグロステキスト、コレレーションテキスト、マイクロテキストを使用できます。詳しくは、弊社担当者にお問い合わせください。

- FreeFlow VI Suite 対応フォント A (バーコードフォント)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント B (グロステキスト、コレレーションテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント C (マイクロテキスト)
- FreeFlow VI Suite 対応フォント D (KAJO-J 明朝)

VI Interpreter を利用するうえで、Color 1000 Press、または Color 800 Press 固有の制限について説明します。

## FFPS の FastPath 機能について

FFPS で VI Interpreter を使用するときには、必ず FFPS の FastPath と呼ばれる機能を無効にします。この機能を無効にしないと、プリント結果からイメージやフォームが欠落することがあります。

FastPath 機能を無効にする手順は、次のとおりです。

### 操作手順

- 1** FFPS の [ログオン] メニューから、[ログオン] を選択します。  
[ログオン] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** [ユーザー名] エリアのプルダウンメニューから、[システム管理者] を選択します。
- 3** [パスワード] エリアにパスワードを入力します。
- 4** [了解] ボタンをクリックします。
- 5** [システム] メニューから、[UNIX 端末エミュレータウィンドウ] を選択します。  
端末エミュレーターのウィンドウが起動されます。
- 6** 端末エミュレーターのプロンプトで「su」を入力します。

```
% su
```

- 7** 引き続き、root のパスワードを入力します。

```
Password: xxxxxxxxx
```

```
#
```

8 次のコマンドを実行して、FastPath を無効にします。

```
# cd /opt/XRXnps/bin
# ./setimagepath -f 0
```

9 FFPS を再起動します。

**補足** 一度、無効化の手順を行うと、そのあとに FFPS やプリンターの電源を入れ直しても、FastPath 機能は無効のままになります。

## サポート対象外のコマンドとパラメーター

---

次のコマンドとパラメーターは、サポートしていません。

### ■ コマンド

- BIND\_off
- BIND\_on
- STAPLE\_off
- STAPLE\_on
- STAPLEDETAILS

### ■ パラメーター

- /MediaSubst

## 注意点のある、サポート対象のコマンドとパラメーター

---

次のサポート対象のコマンドとパラメーターについては、使用するうえで注意点があります。

**参照** 各コマンドとパラメーターの注意点については、「コマンドに関する注意点」(P. 30)、および「パラメーターに関する注意点」(P. 34)を参照してください。

### ■ コマンド

- INDEXFONT
- PRECACHE
- RUNDD
- SETFINISHING
- SETFONT
- SETMEDIA
- SETMEDIAT
- SETOBIN
- SETOBINT
- SETPAGESIZE

## ■ パラメーター

- /Caching

## コマンドに関する注意点

---

次のコマンドを使用するときの注意点や、使用する属性値について説明します。

### ■ INDEXFONT

フォントのインデックスを作成するために指定できる日本語フォント名 (*fontname*) は、Color 1000 Press、または Color 800 Press で提供しているフォントとエンコードです。

**参照** 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名 (*fontname*)」(P. 35) を参照してください。

### ■ PRECACHE

- **PRECACHE** コマンドを使用したイメージを回転させて出力すると、出力位置がずれてしまうことがあります。イメージを回転させる場合は、**PRECACHE** コマンドは使用しないでください。
- TIFF 形式へのデコンポーズ保存はできません。  
**PRECACHE** コマンドを使用している VIPP ジョブを、FFPS デコンポジションサービスで [TIFF (1 ページ)] または [TIFF (複数ページ)] 形式に保存しようとする、次のフォルトメッセージが表示され、ジョブの処理がされません。  
「ジョブの処理中に、イメージ処理でエラーが発生しました」  
このため、**PRECACHE** コマンドを使用している VIPP ジョブを、TIFF 形式にデコンポーズ保存できません。
- ひとつのジョブの中で、同じイメージに対して **PRECACHE** コマンドを複数回使用すると、プリント時に、エラー (stackunderflow: defineresource) が発生します。このため、ひとつのジョブ内で、同一イメージに対して **PRECACHE** コマンドを複数回、使用しないでください。  
また、上記と同様の理由から、データベースモードで、DBM ファイル内に **PRECACHE** コマンドを記述すると、エラーが発生することがあります。このような場合には、DBF ファイルの先頭に **PRECACHE** コマンドを記述することで、エラーの発生を回避できます。
- Color 1000 Press、または Color 800 Press では、**PRECACHE** コマンドによって、FFPS のサーバーのハードディスク上にプレキャッシュリソースファイルが作成され、それ以降のジョブからも呼び出せます。このため、過去のジョブで **PRECACHE** コマンドを使用したファイルと同名の異なるファイル (たとえば、イメージが更新されたときなど) を、別のジョブで **CACHE** コマンドを用いて出力しようとする、現在のイメージではなく、過去に **PRECACHE** コマンドを使用したときのイメージで描画されてしまうことがあります。  
これを防ぐためには、リソースが更新されたあとは必ず、次に示す①と②のどちらかの操作を行ってください。  
① **PRECACHE** コマンドを実行して、プレキャッシュリソースファイルを作成し直す  
② FFPS のメインウィンドウの [オプション] メニューから [サイト設定]、[プリントの方法] タブの順に選択し、[可変データオブジェクト] エリアの [すべて削除] ボタンをクリックして、プレキャッシュリソースファイルをすべて削除したあとにプリントする

## ■ RUNDD

一般的なモノクロやハイライトカラープリンターの、FFPS が作成するデコンポーズ保存 TIFF は、白黒 2 値です。これに対して、Color 1000 Press、または Color 800 Press の FFPS デコンポーズ保存機能によって作成される TIFF イメージは、フルカラーです。そのため、**RUNDD** コマンドを用いて、Color 1000 Press、または Color 800 Press でのデコンポーズ保存ジョブを出力するときには、次のことに注意する必要があります。

- RIP 処理速度が非常に遅く、白黒 2 値の保存ジョブと比較して、RIP 処理時間がおおよそ数十倍かかることがあります。
- デコンポーズ保存前のオリジナルジョブがモノクロであっても、フルカラーでデコンポーズ TIFF が作成されます。そのため、**RUNDD** コマンドによる出力ページが一見モノクロに見えても、カラーページとして課金メーターにカウントされます。
- VI Interpreter は白黒 2 値の TIFF は透過、カラーイメージは不透過として扱います。そのため、**RUNDD** コマンドによる出力イメージは、背面にあらかじめ描画されているフォームイメージなどを上書きしてしまいます。

たとえば、次に示すような **SETFORM** と **RUNDD** コマンドによって、ページ上の同じ箇所に同じテキストやイメージをマージすることは、Color 1000 Press、または Color 800 Press ではできません。

```
{
  2000 3400 MOVETO
  (logo.tif) 1 0 ICALL
  /Ryumin-Light-RKSJ-H 18 SETFONT
  1240 100 MOVETO
  ( 富士ゼロックス ) SHC
} SETFORM

(letter) RUNDD
```

## ■ SETFINISHING

- Color 1000 Press、またはColor 800 Press で後処理を指定する場合には、SETFINISHING コマンドを使用します。他の機種で使用している STAPLE\_on、STAPLE\_off、および STAPLEDETAIL コマンドによる後処理は、Color 1000 Press、またはColor 800 Press ではサポートしていません。

- 後処理の動作には、ホチキス留め、折り、中とじ、パンチ（穴あけ位置と数）が指定できます。

**参照** 指定できる後処理の動作については、次の各項目を参照してください。

- 「指定できるホチキス留めの引数」(P. 36)
- 「指定できる折りの引数」(P. 37)
- 「指定できる中とじの引数」(P. 37)
- 「指定できるパンチの引数」(P. 38)

- 後処理の動作（引数）指定について、次のような制限があります。

- 用紙サイズごとに、指定できる後処理が異なります。
- 複数指定ができる後処理（ステーブル+パンチなど）と、できない後処理があります。
- 用紙サイズが混在できる後処理と、できない後処理があります。

**参照** プリンターの仕様に関連する制限については、プリンター側で用意されているマニュアルを参照してください。

## ■ SETFONT

日本語フォント名（fontname）には、Color 1000 Press、またはColor 800 Press で提供しているフォントとエンコードを指定します。

**参照** 指定できる日本語フォント名については、「指定できる日本語フォント名（fontname）」(P. 35)を参照してください。

## ■ SETMEDIA

- ひとつのジョブの中で複数の用紙を指定するときは、あらかじめ、FFPS のデフォルト用紙を SETMEDIA コマンドで設定します。これを設定しておかないと、SETMEDIAT コマンドで一時的に用紙指定をしたときに、それ以降の物理ページで用紙設定がデフォルトには戻らないまま、SETMEDIAT コマンドで変更した指定用紙が継続して使用されます。

**補足** FFPS のデフォルト用紙設定は、用紙のタイプは [普通紙] (Plain)、色は [白] (White)、質量は [90 g/m<sup>2</sup>] (90) です。

- 用紙の属性を null、または空白に指定すると、属性の内容を変更しないようにできます。たとえば、次の例のように、用紙の属性のどれかに null を指定すると、その属性は以降の用紙の選択では無視されて、FFPS のデフォルト設定値が有効になります。

**〔例〕** MediaColor が無視されている場合

```
(Drilled:null:100) SETMEDIA
```

- たとえば、次の例のように、用紙の属性（タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*)）のどれかが省略された場合は、以降の用紙の選択に対してその直前の **SETMEDIA** コマンドでの設定が有効になります。

【例】 *MediaColor* が省略されている場合

```
(Drilled:::100) SETMEDIA
```

- **SETMEDIA** コマンドによる指定用紙情報は、FFPS の [ジョブ管理] ウィンドウには表示されませんが、有効です。
- 出力用紙には、タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*) が指定できます。
  - （参照） 指定できる出力用紙については、次の各項目を参照してください。
    - 「指定できる用紙のタイプ (*MediaType*)」 (P. 39)
    - 「指定できる用紙の色 (*MediaColor*)」 (P. 40)
    - 「指定できる用紙の質量 (*MediaWeight*)」 (P. 40)

## ■ SETMEDIAT

- デフォルトの用紙は、あらかじめ **SETMEDIA** コマンドで設定します。これを設定しておかないと、**SETMEDIAT** コマンドで一時的に用紙指定をしたときに、それ以降の物理ページで用紙設定がデフォルトには戻らないまま、**SETMEDIAT** コマンドで変更した指定用紙が継続して使用されます。
- **SETMEDIA** コマンドと同じように、属性の設定値を **null** または空白に指定することで、その属性の内容を変更しないようにできます。
  - （参照） **SETMEDIA** コマンドについては、「SETMEDIA」 (P. 32) を参照してください。
- 現在のページを一時的に設定する出力用紙には、タイプ (*MediaType*)、色 (*MediaColor*)、質量 (*MediaWeight*) が指定できます。
  - （参照） 指定できる出力用紙については、次の各項目を参照してください。
    - 「指定できる用紙のタイプ (*MediaType*)」 (P. 39)
    - 「指定できる用紙の色 (*MediaColor*)」 (P. 40)
    - 「指定できる用紙の質量 (*MediaWeight*)」 (P. 40)

## ■ SETOBIN

- **SETOBIN** コマンドを使用して出力先をスタッカーに設定した場合に、バナーシートやエラーシートだけがトップトレイに排出されることがあります。バナーシートやエラーシートもスタッカーに排出させるには、FFPS の [キュー管理] ウィンドウで、ジョブを送信するキューの [プリントの排出先] を、[スタッカー] に設定してください。
- プリントの出力（排出）先 (*OutputType*) が指定できます。
  - （参照） 指定できるプリントの排出先については、「指定できるプリントの排出先 (*OutputType*)」 (P. 40) を参照してください。

## ■ SETOBINT

- SETOBINT コマンドを使用して出力先をスタッカーに設定した場合に、バナーシートやエラーシートだけがトップトレイに排出されることがあります。バナーシートやエラーシートもスタッカーに排出させるには、FFPS の [キュー管理] ダイアログボックスで、ジョブを送信するキューの [プリントの排出先] を、[スタッカー] に設定してください。
- 現在のページをプリントする出力（排出）先（OutputType）が一時的に設定できます。  
**参照** 指定できるプリントの排出先については、「指定できるプリントの排出先（OutputType）」（P. 40）を参照してください。

## ■ SETPAGESIZE

定型サイズの内紙に対応する、各単位での用紙サイズ（*pagewidth* と *pageheight*）が指定できます。

- 参照** 指定できる用紙サイズについては、「利用できる用紙サイズ（*pagewidth* と *pageheight*）」（P. 41）を参照してください。

# パラメーターに関する注意点

---

次のパラメーターを使用するときの注意点や、使用する属性値について説明します。

## ■ Caching

SETPARAMS コマンドでは、Adobe キャッシュと Xerox キャッシュの設定を切り替えることができますが、Color 1000 Press、または Color 800 Press の場合には、[オプション] メニューの [サイト設定] の [プリントの方法] タブ設定で、この切り替え設定が上書きされます。キャッシュの切り替え動作は、次表のとおりです。

[オプション] メニューの [サイト設定] の [プリントの方法] タブ設定	動作
[PostScript キャッシュ] に [加速モード] を選択	Xerox キャッシュを使用
[PostScript キャッシュ] に [標準モード] を選択	Adobe キャッシュを使用

## 指定できる日本語フォント名 (*fontname*)

---

指定できる日本語フォント名（フォント 12 書体とエンコード（よこ書き：6 種類、たて書き：5 種類）は、次のとおりです。

### ■ フォント

- /ShinGo-Bold（新ゴ（Bold））
- /ShinGo-Light（新ゴ（Light））
- /ShinGo-Medium（新ゴ（Medium））
- /Jun101-Light（じゅん 101（Light））
- /GothicBBB-Medium（中ゴシック BBB（Medium））
- /FutoMinA101-Bold（太ミン A101（Bold））
- /FutoGoB101-Bold（太ゴ B101（Bold））
- /HeiseiKakuGo-W5（平成角ゴシック体（W5））
- /HeiseiMin-W3（平成明朝体（W3））
- /MidashiGo-MB31（見出ゴ（MB31））
- /MidashiMin-MA31（見出ミン（MA31））
- /Ryumin-Light（リュウミン L-KL（Light））

### ■ エンコード（よこ書き）

- 83pv-RKSJ-H
- 90ms-RKSJ-H
- 90pv-RKSJ-H
- Ext-RKSJ-H
- RKSJ-H
- UniJIS-UTF8-H

### ■ エンコード（たて書き）

- 90ms-RKSJ-V
- 90pv-RKSJ-V
- Ext-RKSJ-V
- RKSJ-V
- UniJIS-UTF8-V

## 指定できるホチキス留めの引数

---

指定できるホチキス留めの引数は、次表のとおりです。

引数	ホチキス留めの説明
SinglePortrait	左上ホチキス1か所—たて
SingleLandscape	左上ホチキス1か所—よこ
DualLeftPortrait	左ホチキス2か所—たて
DualLeftLandscape	左ホチキス2か所—よこ
DualPortrait	上ホチキス2か所—たて
DualTopPortrait	上ホチキス2か所—たて
DualLandscape	上ホチキス2か所—よこ
RightPortrait	右上ホチキス1か所—たて
RightLandscape	右上ホチキス1か所—よこ
DualBottomPortrait	下ホチキス2か所—たて
DualRightPortrait	右ホチキス2か所—たて
DualRightLandscape	右ホチキス2か所—よこ
CenterTopPortrait	上中央ホチキス1か所—たて
CenterTopLandscape	上中央ホチキス1か所—よこ
CenterBottomPortrait	下中央ホチキス1か所—たて
CenterBottomLandscape	下中央ホチキス1か所—よこ
CenterRightPortrait	右中央ホチキス1か所—たて
CenterRightLandscape	右中央ホチキス1か所—よこ
CenterLeftPortrait	左中央ホチキス1か所—たて
CenterLeftLandscape	左中央ホチキス1か所—よこ
BottomLeftPortrait	左下ホチキス1か所—たて
BottomLeftLandscape	左下ホチキス1か所—よこ
BottomRightPortrait	右下ホチキス1か所—たて
BottomRightLandscape	右下ホチキス1か所—よこ

## 指定できる折りの引数

---

指定できる折りの引数は、次表のとおりです。

引数	折りの説明
CFoldOutside	内三つ折り（外側にプリント）
ZFoldOutside	外三つ折り（外側にプリント）
BiFoldInside	二つ折り（内側に印刷）
BiFoldInsideAndTrim	
BiFoldOutside	二つ折り（外側に印刷）
BiFoldOutsideAndTrim	
ZFoldInsideLeftHalfSheet	Z折り左とじ
ZFoldInsideRightHalfSheet	Z折り右とじ
BookletSquareFoldAndTrim	角背
BookletSaddleSquareFoldAndTrim	角背 / ホチキス

## 指定できる中とじの引数

---

指定できる中とじの引数は、次表のとおりです。

引数	中とじの説明
BookletFold	二つ折り
BookletSaddleStitch	二つ折り / ホチキス

## 指定できるパンチの引数

指定できるパンチ（穴あけ位置と数）の引数は、次表のとおりです。

- パンチ位置（穴あけ位置）

引数	パンチ位置（穴あけ位置）の説明
TopPortrait	上パンチーたて
BottomPortrait	下パンチーたて
RightPortrait	右パンチーたて
LeftPortrait	左パンチーたて
TopLandscape	上パンチーよこ
BottomLandscape	下パンチーよこ
RightLandscape	右パンチーよこ
LeftLandscape	左パンチーよこ

- パンチ数（穴あけ数）

引数	パンチ数（穴あけ数）の説明
Two	2 穴
Three	3 穴
Four	4 穴

**補足** お使いのプリンターの構成によっては、3 穴パンチユニット（オプション）を使用すると、3 穴も使用できます。ただし、この場合は3 穴だけが使用でき、2 穴と 4 穴は使用できません。

## 指定できる用紙のタイプ (Media Type)

指定できる用紙のタイプ (Media Type) は、次表のとおりです。

タイプ名 (Media Type)	用紙のタイプの説明
Plain	普通紙
Drilled	普通紙 (穴あき)
Recycled	再生紙
RecycledDrilled	再生紙 (穴あき)
Preprinted	プレプリント
Drilled Preprinted	プレプリント (穴あき)
Label	ラベル紙
Drilled Label	ラベル紙 (穴あき)
PreCutTab#n	インデックス紙、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値)
Drilled PreCutTab#n	インデックス紙 (穴あき)、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値)
Transparency	OHP フィルム
Drilled Transparency	OHP フィルム (穴あき)
FullCutTab	フルカッタブ
Drilled FullCutTab	フルカッタブ (穴あき)
Ordered	順序指定
Drilled Ordered	穴あき順序指定
xxx/n	順序指定紙、1組の枚数を $n$ で指定する ( $n$ = 整数値) xxx の部分は順序指定の用紙名で、任意の名前を使用 (半角英数字) できます。この場合、プリンターのトレイの用紙設定で、用紙タイプをこの内容に対応したものにしておく必要があります。

**補足** タイプ名 (Media Type) に指定する文字列では、大文字と小文字の違いは無視されます。

## 指定できる用紙の色 (MediaColor)

---

指定できる用紙の色 (MediaColor) は、次表のとおりです。

色 (MediaColor)	用紙の色の説明
noColor	透明
white	白
blue	青
buff	クリーム
green	みどり
gray	グレー
goldenrod	山吹色
ivory	アイボリー
orange	オレンジ
pink	ピンク
red	赤
yellow	黄色

**補足** 色 (MediaType) に指定する文字列では、大文字と小文字の違いは無視されます。

## 指定できる用紙の質量 (MediaWeight)

---

指定できる用紙の質量 (MediaWeight) は、次表のとおりです。

FFPS では [90 g/m<sup>2</sup>] がデフォルトなので、通常は「90」を指定します。

質量 (MediaWeight)	用紙の質量の説明
70	70 g/m <sup>2</sup>
90	90 g/m <sup>2</sup>
120	120 g/m <sup>2</sup>
140	140 g/m <sup>2</sup>
210	210 g/m <sup>2</sup>
250	250 g/m <sup>2</sup>

## 指定できるプリントの排出先 (OutputType)

---

プリントの出力 (排出) 先 (OutputType) は、次表のとおりです。

出力先名 (OutputType)	出力先の説明
TopTray	トップトレイ (排出トレイ)
Stacker	スタッカー (フィニッシャートレイ)

## 利用できる用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*)

定型サイズの内紙に対応する、各単位での用紙サイズ (*pagewidth* と *pageheight*) の指定ができます。指定できる用紙サイズは、次表のとおりです。

**補足** Width と Height の下段にある ( ) 内は、サイズの単位を表します。

用紙サイズ	Width (MM)	Height (MM)	Width (INCH)	Height (INCH)	Width (POINT)	Height (POINT)
レター (216 x 279 mm)	216	279	8.5	11	612	792
リーガル (216 x 356 mm)	216	356	8.5	14	612	1008
ステートメント (140 x 216 mm)	140	216	5.5	8.5	396	612
レジャー (432 x 279 mm)	279	432	11	17	792	1224
9 x 11" (229 x 279 mm)	229	279	9	11	648	792
8 x 10" (203 x 254 mm)	203	254	8	10	576	720
A3 (420 x 297 mm)	297	420	11.7	16.5	842	1191
A4 (210 x 297 mm)	210	297	8.3	11.7	595	842
8.5 x 13" (216 x 330 mm)	216	330	8.5	13	612	936
223 x 297 mm	223	297	8.8	11.7	632	842
B4 (257 x 364 mm)	257	364	10.1	14.3	729	1032
A5 (148 x 210 mm)	148	210	5.8	8.3	420	595
B5 (182 x 257 mm)	182	257	7.2	10.1	516	729
12 x 18" (305 x 457 mm)	305	457	12	18	864	1296
十六開 (194 x 267 mm)	194	267	7.6	10.5	550	756
八開 (267 x 388 mm)	267	388	10.5	15.3	756	1100
SRA3 (320 x 450 mm)	320	450	12.6	17.7	907	1276
エグゼクティブ (184 x 267 mm)	184	267	7.3	10.5	522	756
A6 (105 x 148 mm)	105	148	4.1	5.8	297	420
C5 (162 x 229 mm)	162	229	6.4	9.0	459	649
11 x 15" (279 x 381 mm)	279	381	11	15	792	1080
328 x 453 mm	328	453	12.9	17.8	930	1284
12 x 19" (305 x 482 mm)	305	483	12	19	864	1368
12.6 x 19.2" (320 x 488 mm)	320	488	12.6	19.2	907	1382
13 x 18" (330 x 457 mm)	330	457	13	18	936	1296
13 x 19" (330 x 483 mm)	330	483	13	19	936	1368
十六開 GCO (195 x 270 mm)	195	270	7.7	10.6	553	765
八開 GCO (270 x 390 mm)	270	390	10.6	15.4	765	1106
はがき (100 x 148 mm)	100	148	3.9	5.8	283	420
はがき (148 x 200 mm)	148	200	5.8	7.9	420	567

用紙サイズ	Width (MM)	Height (MM)	Width (INCH)	Height (INCH)	Width (POINT)	Height (POINT)
4 x 6 Postcard	101	149	4	5.9	286	422
5 x 7''	127	191	5	7.5	360	540
XR 6 x 9	152	229	6	9	432	648
B6	128	182	5	7.2	363	516
Spanish XW	215	315	8.5	12.4	609	893
226 x 310mm	226	310	8.9	12.2	640	878
310 x 432mm	310	432	12.2	17	878	1224
Envelope (240 x 332 mm)	240	332	9.4	13.1	680	941
C4 Envelope (229 x 324 mm)	229	324	9	12.8	649	918

用紙サイズ	Width (DOT3)	Height (DOT3)	Width (PELS)	Height (PELS)	Width (CM)	Height (CM)
レター (216 x 279 mm)	2550	3300	2040	2640	21.6	27.9
リーガル (216 x 356 mm)	2550	4200	2040	3360	21.6	35.6
ステートメント (140 x 216 mm)	1650	2550	1320	2040	14	21.6
レジャー (432 x 279 mm)	3300	5100	2640	4080	27.9	43.2
9 x 11'' (229 x 279 mm)	2700	3300	2160	2640	22.9	27.9
8 x 10'' (203 x 254 mm)	2400	3000	1920	2400	20.3	25.4
A3 (420 x 297 mm)	3508	4963	2807	3970	29.7	42
A4 (210 x 297 mm)	2479	3508	1983	2807	21	29.7
8.5 x 13'' (216 x 330 mm)	2550	3900	2040	3120	21.6	33
223 x 297 mm	2633	3508	2107	2807	22.3	29.7
B4 (257 x 364 mm)	3038	4300	2430	3440	25.7	36.4
A5 (148 x 210 mm)	1750	2479	1400	1983	14.8	21
B5 (182 x 257 mm)	2150	3038	1720	2430	18.2	25.7
12 x 18'' (305 x 457 mm)	3600	5400	2880	4320	30.5	45.7
十六開 (194 x 267 mm)	2292	3150	1833	2520	19.4	26.7
八開 (267 x 388 mm)	3150	4583	2520	3667	26.7	38.8
SRA3 (320 x 450 mm)	3779	5317	3023	4254	32	45
エグゼクティブ (184 x 267 mm)	2175	3150	1740	2520	18.4	26.7
A6 (105 x 148 mm)	1238	1750	990	1400	10.5	14.8
C5 (162 x 229 mm)	1913	2704	1530	2163	16.2	22.9
11 x 15'' (279 x 381 mm)	3300	4500	2640	3600	27.9	38.1
328 x 453 mm	3875	5350	3100	4280	32.8	45.3
12 x 19'' (305 x 482 mm)	3600	5700	2880	4560	30.5	48.3
12.6 x 19.2'' (320 x 488 mm)	3779	5758	3023	4607	32	48.8

用紙サイズ	Width (DOT3)	Height (DOT3)	Width (PELS)	Height (PELS)	Width (CM)	Height (CM)
13 x 18" (330 x 457 mm)	3900	5400	3120	4320	33	45.7
13 x 19" (330 x 483 mm)	3900	5700	3120	4560	33	48.3
十六開 GCO (195 x 270 mm)	2304	3188	1843	2550	19.5	27
八開 GCO (270 x 390 mm)	3188	4608	2550	3687	27	39
はがき (100 x 148 mm)	1179	1750	943	1400	10	14.8
はがき (148 x 200 mm)	1750	2363	1400	1890	14.8	20
4 x 6 Postcard	1192	1758	953	1407	10.1	14.9
5 x 7"	1500	2250	1200	1800	12.7	19.1
XR 6 x 9	1800	2700	1440	2160	15.2	22.9
B6	1513	2150	1210	1720	12.8	18.2
Spanish XW	2538	3721	2030	2977	21.5	31.5
226 x 310mm	2667	3658	2133	2927	22.6	31
310 x 432mm	3658	5100	2927	4080	31	43.2
Envelope (240 x 332 mm)	2833	3921	2267	3137	24	33.2
C4 Envelope (229 x 324 mm)	2704	3825	2163	3060	22.9	32.4

## 自動イメージ補正の注意

VIPP ジョブをプリントする場合には、プロパティの [画質] タブの [自動イメージ補正] で、[自動イメージ補正] に [しない] を設定してください。[標準] や [ユーザー定義] に設定した場合には、正しく描画できないことがあります。

## FFPS で特殊描画機能を使用するための設定をする

次の手順に従って、FFPS で特殊描画のジョブを処理するためのキューを設定します。

### 操作手順

- 1 キューのプロパティで、[画質] タブ、[ハーフトーン] ボタンの順に選択します。
- 2 [ハーフトーン] プルダウンメニューから [600 線網点] を選択します。
- 3 [自動イメージ補正] ボタンを選択します。
- 4 [自動イメージ補正] プルダウンメニューから [しない] を選択します。
- 5 [カラーの管理] ボタンをクリックします。  
[カラーの管理] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 [CMYK] タブの [写真] と [文字と図 / 表 / グラフ] プルダウンメニューの両方で、[受信データの CMYK 値をそのまま使う] を選択します。

## 後処理を使用するときの注意

---

後処理を使用するうえで、次の注意点があります。

- 後処理を使用するときに、オプションの指定に誤りがあると、該当のジョブがフォルトになることがあります。正しいオプションを指定してください。
- 用紙の向きが「たて」の場合、**ILAND** コマンドで指定すると、後処理の位置が左右逆になります。用紙の向きが「たて」の場合には、**LAND** コマンドを指定してください。

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

 **フリーダイヤル** 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、<http://www.fujixerox.co.jp> です。

## FreeFlow VI Suite インストール補足説明書 (FreeFlow Print Server 対応)

著作者 富士ゼロックス株式会社  
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2009年 12月 第1版  
2010年 9月 第2版

(管理番号：ME4306J1-3)